

首都圏増田会だより

32
2017.6

日の丸は
増田会の
金メダル

七日町（日の丸醸造）

2017年11月19日(日)首都圏増田会
オーラムで会いましょう。

元気で会えたね首都圏増田会

31回目の首都圏増田会も盛大に行われ、特に今年はビンゴゲームに胸を膨らませ大きな声で「ビンゴ～」気持ちが良いものですね。

私は物産展で沢山買い求め、帰りは増田のお土産で妻を喜ばせてあげたい気持ちになり、実際家に帰ってから、妻には「よくこんな重いのに持ち帰ったね～」とほめられました。私の妻は、故郷がなく秋田のお土産が大好きです。

私の住んでいる商店街には、地方の物産展が徐々に増えてきていますが、秋田はありません。隣の県で山形の物産展があるので（押し豆やワラビ等）よく買います。お店の中で流れる山形県の民謡がとても懐かしく、まるで地元で買い物をしている気分になるのは私だけでしょうか…。私の住む町田市へ早く来てほしい秋田の物産展。

増田の物産展も懐かしいが、方言も懐かしく思い、控室で3人の方々が会話を交わしており、暫らく聞き入り、方言でいいなあーと思い、涙する気持ちになりました。

ただ、今の若い世代は方言での会話が無いとのことでしたが、私は本当に無くなって良いのかなあーと思いました。あなどれない私達の方言は消さないでほしい。

増田会の総会は方言で始まり、そして方言で終わるのが楽しみなんです。総会へ参加していただいた方の中には、私と同じ考えでいる方もいると思います。そして、方言で語り合える増田会の会員を一人でも多く誘い合って楽しい増田会にしましょう。



首都圏増田会 幹事

高橋 幸三

【滝ノ下出身】

初の大役を皆様の協力で 無事つとめることができました。

2016年11月20日、首都圏増田会に主催者側として参加しました。私の役割は、総会と懇親会の司会です。総会は、議事進行台本がキチンと出来ていたためスムーズに運びました。懇親会は、真人山荘の皆様にご心を入れて作っていただいた、美味しい芋の子汁をはじめとして漬物などを肴として、ふるさとの日本酒やビールで皆様の会話がはずみました。その後、十文字出身の「CHIHO」さんのすばらしいアルトサクソ演奏にききほれました。さらにカラオケタイムになると、のど自慢の方々から次々とリクエストが入り、会場全体が盛り上がりました。

会の最後には、多数のすばらしい商品が当たるビンゴゲームを行い、「リーチ！」や「ビンゴ！」の声が会場全体から飛び交いました。

終わった後に、大勢の方から「楽しかった」「また来年も来たい」などのお声をかけていただき、主催者メンバーとして大変うれしい思いでした。

今回参加された方はもちろんですが、あいにく都合が悪く参加できなかった方も、2017年の秋にはお友達をお誘いの上、ぜひご参加ください。役員一同お待ちしております。

つたない司会でご迷惑をおかけしましたが、皆様に喜んでいただけるよう、またがんばりたいと思います。



首都圏増田会役員

越後 英雄

【七日町出身】

会員の声

私にとっての増田町

谷口くるみさん



いつからか自分のルーツと関わる増田町を故郷と思ってきたのかもしれない。

しかし、それ以上に故郷と感じる機会を与えて頂けたのは、首都圏増田会の存在でした。

東京生まれで東京育ちの私にとって、増田町とは何だろうか、首都圏増田会の会報が届くと、そのような想いをめぐらせてしまいます。

父が祖母の故郷である増田町で戦中戦後と暮らし、増田町で生まれ育った母と出会い結婚に至るまで様々な事があったことでしょう。それからの長い東京暮らし、また色々な事があったでしょう。故郷から届けられる美味しい米やりんごを口にしたり、両親からお国の訛りを聞いて育った私は

父は晩年には毎夏、増田町に帰郷し、来る年には一緒に行こうと約束していました。が他界し、その後は私が母と参加するようにになりました。参加するたびに父の大白慢だった故石山元町長にお会いし、米男さんに父の面影を見たり、母と幼なじみが再会し手を取り合っ涙を流す姿に、芋の子汁の美味しさにと

様々な感動を味わってきました。また、各会員の皆様のお顔を拝見しながら、首都圏暮らしで苦労も多々あったであろう、ふるさと恋しく涙も流したのであるう、老いていく父母をどんなに心配した事であろうと、様々な思いも巡らせました。

私は両親が故郷への敬意を伝えてくれた事、また首都圏増田会の存在自体に感謝したいです。毎年、首都圏増田会総会の準備に翻弄される役員の皆様、また横手市増田地域の皆様の多大なるお力のもと開催されている事を今年無力な役員として関わり、たくさん事を学びました。

首都圏増田会会員の皆様も、高齢化が進んでおります。どうか私のような会員が一人でも増えるように願うばかりです。

新役員さん紹介

佐藤 修さん

【真人出身】



ふる里増田に、私のところは懐かしさでいっぱいです。

若いときは生まれ故郷に何も感じ入ることがありませんでしたが、今振り返れば本当に素敵な町、立派な町だったと思います。

『首都圏増田会』の役員として仲間に加えていた、だいたことを機に、他の方々と協力して増田町の素晴らしさを皆に知らせたり、町の発展のためにお手伝いをしたり、頑張っていきたいです。

岩尾 朋哉さん



この度、ご縁がありまして『首都圏増田会』にかかわらせていただくことになりました。

私は現在、秋田県比内地鶏を使った鶏料理専門店『あべや六本木店』の店長を務めております。これから秋田のことを増田のことを、より深く知りたいと考えています。今後ともよろしく願います。

春

2016チャレンジデー



5月25日(水)、チャレンジデーが全国一斉に実施され、増田地域でも各地区でさまざまなチャレンジが行われました。

チャレンジデーは、5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントで、1日のうち15分以上運動する人が何人いるかを参加率で競い、人口規模がほぼ同じ自治体同士が対戦するイベントです。

増田地域の参加率は72%で、横手市全体では全国で5番目に高い88.5%の参加率でしたが、惜しくも鹿児島県霧島市(参加率90%)に敗れてしまいました。

(ますだ地域通信 平成28年6月15日号より)

雪捨て場クリーンアップ



冬期間雪捨て場として開放していた上川原河川敷のクリーンアップが、5月22日(日)に実施されました。この雪捨て場は毎年、地権者および国土交通省の了解を得て排雪場所として一般開放しているものです。

クリーンアップ当日は晴天に恵まれ、地域住民の方々から約70名が、排雪時に混じったゴミ等の清掃を行いました。2tダンプ1台分のゴミや碎石等が回収されました。

(ますだ地域通信 平成28年6月15日号より)

増田町の出来事

～ 平成28年度に行われた主な行事を紹介 ～

増田庁舎リニューアルオープン



9月30日、増田庁舎1階のリニューアル・オープニングセレモニーが開催されました。夏も冬も、老若男女みんながここに“ではってきて(出かけてきて)”元気に交流しよう、という願いが込められ、名づけられた愛称は『増田さデハルベ』。窓口機能は1階に集約され、吹き抜けの玄関から東側には図書館、西側にはオープンスペースやカフェ、貸事務所などが配置されています。光の差す明るいこの場所が、地元の元気の発信地になることが期待されます。

(市報 平成28年11月1日号より)

増田のまちなみ案内所「ほたる」オープン



国の重要伝統的建造物群保存地区の中七日町通りの旧杏華堂跡地に、住民と来町者がまちなみを見ながら気軽に交流できる施設『ほたる』がオープンし、4月15日(金)、関係者や地域住民など約60人が出席してオープニングセレモニーが行われました。『ほたる』は、まちなみにマッチした切妻造妻入の2階建てで、1階には観光案内スペースとお土産販売コーナー、2階には増田町観光協会の事務所と会議室があります。駐車場も広々としており、大型バス6台分の駐車スペースも備えています。営業時間は通常午前9時から午後5時までですので、お気軽にご利用ください。

(ますだ地域通信 平成28年6月15日号より)

三所神社梵天まつり

2/19(日)



増田の盆おどり

8/16(火)



増田の花火

9/14(水)



冬

元祖さるはんない幻灯



2月11日と12日の2日間にわたり、「元祖さるはんない幻灯」が行われました。午後6時、住民総出で道路わきの雪壁にあけた穴に立てたろうそくに火を灯すと、やわらかい灯りが辺りを優しく照らし、一带は幻想的な雰囲気になりました。集落によっては、ミニかまぐらのアートや豪華なお堂などを作り、訪れた方々に甘酒や玉コン、おでんなどを振る舞っていました。観光客は、雪景色にやわらかく映るろうそくの灯りと、地域の方々の温かいおもてなしに触れていました。

(ますだ地域通信 平成29年3月15日号より)

スポーツゆきよせ世界大会



3月5日、増田野球場を会場に『“スポーツ”YUKIYOSE世界大会2017inよこて』が開催されました。抜けるような青空の下、参加者は気合十分のかけ声とともにスタート！勢いよく掘り進めていきますが、時間がたつとともに湿った重い雪に悪戦苦闘…。終盤にはあちらこちらから悲鳴があがりました。参加した19チーム中、9チームが見事ゴールし、真夏のような熱気に包まれた1日となりました。

(市報 平成29年4月1日号より)

秋

蔵史めぐり



10月2日、中七日町通り周辺で、『蔵史(くらし)めぐり』が行われ、普段は非公開の内蔵を含めた27棟が公開されました。当日は黒漆喰塗り体験やスタンプラリーなど、多くのイベントを開催。訪れた観光客は、ボランティアで参加した増田中学校の生徒たちによる説明を聞きながら、豪華で迫力のある建物に見入っていました。

(市報 平成28年11月1日号より)

りんごまつり



今年で51回目となる『増田りんごまつり』が10月16日、真人公園で開催されました。晴天に恵まれた会場では、りんご即売会のほか、恒例のミスりんごコンテストやりんごの唄コンクールなど多くのイベントが行われ、家族連れなどでにぎわいました。

(市報 平成28年11月1日号より)

夏

全日本元祖たらいこぎ選手権大会



今年で30回目を迎えた増田地域の夏の恒例行事、「全日本元祖たらいこぎ選手権大会」が8月16日(火)、真人公園沼で開催されました。

3人一組の団体、中学生以上の男女個人、子供の4部門に県内外から約140人がエントリーし、42.195m先のゴールを目指して白熱したレースを繰り広げました。

水しぶきをあげながら懸命にたらいをこぎ、時にはたらいに水が入り勢いよく転覆してしまう選手もいたりして、会場は大きな歓声と笑い声に包まれていました。

(ますだ地域通信 平成28年9月15日号より)

イワナ稚魚放流



7月12日(火)、中村集落内の狙半内川で、成瀬川漁業協同組合が主催する、イワナの稚魚放流が行われました。

この日は、ますだ保育園の年長児26人が参加。園児たちは稚魚が入ったバケツをそっと川に傾け、「大きく育てね」と声をかけながら約2千匹を放流し、自然や命の大切さを学びました。

このあと園児たちは、川遊びを楽しみ、元気いっぱい夏の大自然を満喫しました。

(ますだ地域通信 平成28年9月15日号より)

第31回 首都圏増田会総会

～ 仲間とともにふるさとを語る ～

第31回首都圏増田会総会が平成28年11月20日(日)、東京都台東区の「オーラム」で会員や増田町関係者など約140人が参加して開催されました。

総会では、事業報告や事業計画、決算・予算が満場一致で承認されました。引き続き行われた交流会では、地元参加者手作りによる「芋の子汁」や「わらびの漬物」などが振る舞われたほか、十文字地域出身で元BRONZE（ブロンズ）の小川千帆さんによるサクソフォン演奏やカラオケ大会で楽しんだ後、増田の特産品が当たる大ビンゴ大会なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

参加した会員は、お互いの近況を語り合ったり、地元からの参加者にふるさとの様子を時には秋田弁で訪ねたりしながら交流を深め合っていました。



広告掲載

廣告掲載

お願い 一連絡一

事務局より

市町村合併後、市当局からの支援金が大幅に削減されてしまいました。つきましては、増田会としてやむをえず次のようにしました。

過去5年間、会費が未納の方

総会の案内及び増田会だよりの郵送を中止することにしました。ただし、総会への参加は構いませんので、一人でも多くの方々の参加を期待しています。

皆様のご理解の程をお願い申し上げます。

平成28年度首都圏増田会収支報告

平成28.11.20現在

首都圏増田会の平成28年度の収支決算がまとまりました。その内容は下記のとおりです。

【収入の部】		※「比較」欄は予算との比較	
項 目	金額(円)	比 較	備 考
年 会 費	327,558	▲72,442	2,000円/年(手数料差引後)
総 会 会 費	648,000	▲152,000	8,000円×76人
補 助 金	270,000	0	横手市より
前年度繰越金	757,673	0	
預 金 利 子	43	▲57	
諸 収 入	423,000	123,000	総会祝儀(342,000円) 広告収入・物産センターほか
収 入 合 計	2,462,274	▲101,499	

【支出の部】			
項 目	金額(円)	比 較	備 考
総 会 費	1,320,414	▲120,414	会場料、宴会費用他
会 議 費	146,511	53,489	役員会・3回
在京故郷会費	112,000	88,000	在京ふるさと会出席 横手市ふるさと会連絡協議会
慶 弔 費	30,000	0	叙勲の祝い・香典ほか
広 告 費	50,000	30,000	増田の花火協賛金 50,000円 東京平鹿町会 10,000円
通 信 費	91,172	8,828	増田会だより印刷代ほか
事業部活動費	10,000	60,000	役員研修会・探訪ツアー助成金 増田会だより(広報部) 10,000円
手 数 料	4,752	▲252	送金手数料
事 務 費	10,730	9,270	事務消耗品ほか 役員案内切手・はがき代
総会準備費	49,400	250,600	30周年記念準備金
予 備 費	0	323,273	
支 出 合 計	1,824,979	702,794	

収支差引残金 601,295円は翌年度へ繰越

第32回首都圏増田会総会

- 期日 11月19日(日)午前11:30～
- 場所 オーラム(昨年と同じ場所です)
住所 東京都台東区東上野1-26-2
電話 03-5812-1123

会費 8,000円

※参加者全員が着席できるように準備しています。

募集しています

写真募集 首都圏増田会広報部より

広報部では、「増田会だより」の表紙に載せる、増田会にふさわしく、増田に関する郷土の風景、行事、心に残る写真をお持ちの方がおりましたら、是非写真の提供をお願いします。

■提出先：広報部長 森泉 曜子

広告協賛募集 首都圏増田会総務部より

総会資料に掲載する広告を募集しています。1口(名刺版)3,000円となります。希望される方は、伝票の通信欄にその旨を記入いただき、会費と一緒に納入してください。

会費の納入はお早めに

事務局より

当会の事業・運営は、会員の皆様の会費によって賄われていますが、最近会費の納入が遅れたり、未納となる会員の方が出ています。健全会計維持のためにも、納入はお早めをお願いします。なお、未納の方には次回より案内状・たより等の送付はしないこととします。また、転居された方をご存じの方は横手市まちづくり推進部増田地域課へお知らせください。

■連絡先：秋田県横手市増田町増田字土肥館
173番地／電話0182-45-5510

◆会 費 年額2,000円

◆納入期限 平成29年10月10日

※振込伝票の通信欄は、会員紹介、増田会に対するご意見などを自由に記入してください。